

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果検証について

No	事業計画No	交付対象事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③経費内訳 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費	交付金充当額	事業開始年月日	事業完了年月日	成果・評価等	事業担当課
1	2	観光/シティプロモーション活動事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している産業分野、観光分野に対し観光促進と消費拡大のため地域DMOである地域商社あきおたの事業に対し支援する。 ②③観光プロモーション事業 5,900千円 スタンブラリー事業 3,000千円 ComeUpキャンペーン事業 5,000千円 専門人材業務 2,880千円 ④地域DMO(一社)地域商社あきおた	16,780,000	16,780,000	R4.4	R5.3	宣伝広告、パンフレット制作および旅行会社等への営業活動を実施したことに加え、「やっぱ広島じゃ割」の後押しもあり、ツアーバス等の誘客数は3,608人となった。 また、スタンブラリー事業(利用者1,605人)による安芸太田町内周遊の動機付けや、ComeUpキャンペーン事業(宿泊利用者421人)による町内消費額の増加により、町内事業者への経済支援を図ることができた。 これらの事業による利用者数は、合計で5,094人となった。	産業観光課
2	5	プレミアム商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している事業者への支援と町内での消費拡大のため消費地域通貨となるハートフル商品券を活用し、町外への消費流出を防ぐ事業として安芸太田町ハートフル協同組合が発行する事業の経費の一部を補助するもの。 ②プレミアム分3,400冊×11枚×@1000円、印刷経費等 ③プレミアム付き商品券発行事業 4,000千円 ④安芸太田町ハートフル協同組合(事務局:安芸太田町商工会)	4,000,000	4,000,000	R4.4	R5.3	新型コロナの影響が長引く中、町内限定で使用できるプレミアム商品券37,400枚を発行して、期間内に37,274千円が流通し、追加的な需要を創出できた。	産業観光課
3	6	Withコロナ事業継続応援補助事業	①WITHコロナ、POSTコロナを見据え、新しい生活様式に対応する感染症対策の他、販路開拓や業務改善などの前向きな設備投資等を行い、事業継続を図ろうとする町内中小企業者を応援するため、その経費の一部を補助するもの。 ②補助対象経費の3/4を補助(上限30万円) ③38事業者申請 ④町内中小事業者	9,569,000	9,569,000	R4.4	R5.3	新型コロナの影響が長引く中、事業継続を図ろうとする町内商工業業者(38事業者)がWITHコロナ、POSTコロナを見据えた「事業継続力強化計画」を策定するとともに、設備投資等を行うことができた。	産業観光課
4	7	頑張るビジネス応援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している事業者への支援地域産業の発展と社会の維持に果たす中小企業の役割の重要性にかんがみ、中小企業者等に対し補助金を交付することで地域産業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とする。 ②補助金 ③1,700千円(2事業者) ④中小企業者等	1,700,000	1,700,000	R4.4	R5.3	起業化支援1事業者、新分野進出支援1事業者の計2事業者の新たな取り組みに対する支援を行い、補助事業完了後は町商工会によるフォローアップ支援を行う。	産業観光課
5	8	地域環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している施設や、地域の観光資源環境を維持し、コロナ禍でも安心安全に来訪できる環境とするため、施設修繕及び環境保全の活動を行う費用に充てる。 ②施設修繕(浄化槽、遊歩道修繕)、インバウンド対応看板の整備 ③筒賀交流の森林館合併浄化槽漏水修繕 671,000円 深山峡遊歩道・擬木柵修繕 864,600円 深入山環境保全(倒木処分等) 2,420,000円 ④筒賀交流の森、深山峡、深入山観光施設	3,955,600	3,955,000	R4.4	R5.3	コロナ後の観光客数の回復を見据え、より安全で、より便利な町内観光施設の基盤整備を行った	産業観光課
6	9	公共施設等の管理維持体制持続化事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している施設や、地域の観光資源環境を維持し、コロナ禍でも安心安全に来訪できる環境とするため、劣化して使えなくなっているバス停公衆トイレ修繕を行う。 ②③ウォッシュレット付き抗菌便座等 682千円 ④安芸太田町役場前バス停	682,000	682,000	R4.4	R5.3	役場前バス停の公衆トイレを改修することにより、衛生対策を講じることができた。感染症対策を踏まえ、安心安全に利用していただいている。	企画課
7	10	公共交通応援事業	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出を自粛していた住民に対し、定額タクシーを運行し、タクシー利用を促進する。 ②タクシー利用料を上限700円(障がい者100円引き)とし、過分を助成する。 ③利用件数12,614件、補助額23,763,100円 ④町内の中学生以上の者(タクシー事業者へ補助)	23,763,100	23,763,000	R4.4	R5.3	タクシーの利用促進を補助し、定額で移動できるため、通院や買い物に利用してもらった。補助期間中12,614件、15,217人(あいのり含む)の利用があった	企画課

8	11	田舎暮らし体験ツアー事業	①新型コロナウイルス感染拡大傾向が高い都市部等からの移住において、安心して移住できる環境としてプロモーションを行い、継続した移住促進をはかることを目的とする ②PRイベント・PRパンフ・移住支援等 ③移住定住促進事業5,298,100円 ④定住定住事業委託事業者	5,298,100	5,298,000	R4.4	R5.3	コロナ禍によりツアーの実施ができず、定住促進のためはじまりの家利用補助と、移住定住のためのデジタルによる効果的な情報発信とマーケティングを実施した。また、アルパーク無印良品にて移住定住イベントを実施した。	企画課
9	12	公共施設等の管理維持体制持続化事業(戸河内ふれあいセンター分)	①新型コロナウイルス感染予防対策として利用者に安全で快適な環境を提供するため、公共施設である戸河内ふれあいセンターの空調設備について修繕を行うもの ②③空調修繕1,012千円 ④安芸太田町戸河内ふれあいセンター	1,012,000	1,012,000	R4.4	R5.3	新型コロナウイルス感染予防対策として、空調設備を整備した。利用環境の向上が図られ、施設内からの感染者の報告はなかった。	教育課
10	13	図書館パワーアップ事業	①新型コロナウイルス感染拡大に伴いさまざまな活動を制限されている中、生活を豊かなものにするため、図書館の蔵書購入費に充てる。 ②③児童書・一般書・辞典・専門書・移動図書館用図書1,593千円。 ④安芸太田町立図書館	1,590,661	1,590,000	R4.4	R5.3	新型コロナウイルス感染症対策として不要不急の外出自粛などが求められ、図書館へ来館することを控える人も多し中、ステイホームといった新しい生活様式の実践で読書時間が増えた。(貸出実績35,211冊)	教育課
11	14	公共施設等の管理維持体制持続化事業(殿貫ふれあいプラザ)	①新型コロナウイルス感染予防対策として換気機能の向上をはかり、利用者に安全で快適な環境を提供するため、公共施設(指定管理施設)である殿貫ふれあいプラザの空調設備(エアコン)の取り付けを行うもの ②③空調取付 528千円 ④殿貫ふれあいプラザ	528,000	528,000	R4.4	R5.3	指定管理施設である殿貫ふれあいプラザの空調設備を整備し、利用環境の向上を図ることができた。	加計支所
12	15	公共施設等の管理維持体制持続化事業(ピオトープ川登)	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している施設の観光資源環境を維持するため、また、新型コロナウイルス感染予防対策を図るため、公共施設(指定管理施設)である加計農水産物加工直売施設の修繕を行う。 ②③ バルコニー・トイレの修繕 356,646円 ④加計農水産物加工直売施設(ピオトープ川登)	356,646	356,000	R4.4	R5.3	指定管理施設である加計農水産物加工直売施設のバルコニー・トイレを改修することで、コロナ禍でも訪問できよう衛生対策を講じることができた。	加計支所
13	16	公共施設等の管理維持体制持続化事業(生活福祉センターひまわり)	①新型コロナウイルス感染リスクの高い混雑した公衆浴場を利用していた生活支援ハウスの入居者の新型コロナウイルス感染防止をするため、生活支援ハウスの居室に浴室を設置する。 ②③居室浴室化工事 6,607,700円 ④簡易高齢者生活福祉センターひまわり(居住施設事業分)	6,607,700	6,607,000	R4.4	R5.3	生活支援ハウスの居室を浴室化することで、利用者の利便性向上と衛生面の改善に努めることができた。これにより感染症対策に有効な施策となり拡大防止につながった。	健康福祉課
14	17	公共施設等の管理維持体制持続化事業(戸河内デイサービスセンターふれあい)	①新型コロナウイルス感染予防対策として公共施設であるデイサービスセンターに、換気をしながら安定的な空調ができる設備を導入し、利用者に安全で快適な環境を提供しながら、新型コロナウイルス感染拡大を予防する。 ②③空調改修工事 17,600千円 ④戸河内デイサービスセンターふれあい	17,600,000	17,600,000	R4.4	R5.3	公共施設であるデイサービスセンター(介護保険通所介護事業所)の空調設備を更新することにより、利用者に安全で快適な環境を提供しながら感染症拡大防止に努めることができた。	健康福祉課
15	18	農業振興事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰により農業・畜産業の経営を圧迫している町内専業農家を支援する ②③農業者9経営体(経費の3/4)3,579,250円 省エネ車両・農機具導入補助(事業費の1/2)3,013,500円 ④町内専業農家	6,592,750	6,592,000	R4.8	R5.3	町内専業農家(9経営体)に対し、燃料費や肥料等の物価高騰による負担軽減のため補助金を給付し、経営を支援することができた。	産業観光課
16	19	畜産振興事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰により畜産業の経営を圧迫している町内専業農家を支援する ②③畜産2経営体(経費の3/4)4,398,302円 ④町内専業農家	4,398,302	4,398,000	R4.8	R5.3	町内畜産農家(2経営体)に対し、燃料費や飼料等の物価高騰による負担軽減のため補助金を給付し、経営を支援することができた。	産業観光課
17	20	林業管理事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰に対応するため、林業に必要な調査を省力化する ②③森林調査に係るドローン・解析ソフト等(補助対象経費1/2)対象経費の1/2 1,402,000円 ④森林組合	1,402,000	1,402,000	R4.8	R5.3	森林調査に係るドローンにより、森林施業に必要な森林状況の調査を省力化する体制を整備した。	産業観光課
18	21	水産業振興事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰により水産業の経営を圧迫している町内事業者を支援する ②水産2事業者(経費の3/4) ③前年度高熱費実績及び飼料費の上昇率×3/4 267,371円 ④町内漁業協同組合	267,371	267,000	R4.8	R5.3	アユ、アマゴ養殖用の飼料価格の高騰に対応するため、その経費の一部を補助し、漁業協同組合の経営を支援した。	産業観光課

19	22	中小企業支援事業(国のR3予算分)(安芸太田町原油価格等高騰影響事業者応援補助金)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰により中小企業の経営を圧迫している町内事業者を支援する ②町内中小企業者の電気料及び燃料費の一部を補助 ③申請事業者101事業者 14,724千円 ④町内中小企業者	14,724,000	14,724,000	R4.8	R5.3	コロナ禍における原油価格・物価高騰が中小企業の経営を圧迫する中、町内事業者の事業継続を支援し、支援対象者(101事業者)に廃業は無かった。	産業観光課
20	24	公共的空間安全・安心確保事業(避難用テント等含む)	①新型コロナウイルス感染症の感染予防のための資材を購入配布し、感染および感染拡大への予防を徹底する。 ②③消毒液、マスク、使い捨てグローブ、ハンドソープ、その他消耗品(追加分)消毒液等・避難所における感染症予防備品テント 合計 4,113,030円 ④町内公共施設他	4,113,030	4,113,000	R4.4	R5.3	感染症対策を踏まえ、感染拡大防止対策として消毒液や庁舎及び小中学校等で使用する消毒液の購入により感染拡大を防止できた。 また、避難情報発令時の避難所での感染症対策としてテントを購入したことにより、プライバシーの保護も確保され、避難所利用者が安心して避難所を利用することができた。	危機管理室
21	26	貸切バス利用促進助成事業	①新型コロナウイルス感染症及び原油価格高騰の影響により貸切バスの需要が激減し、交通事業者の収入が減少している。町内事業者の貸切バス利用料金の一部を補助することで、利用促進を図り、交通事業者の支援を行うとともに、観光客の誘客を促進する。 ②③貸切バス使用料1/2を助成 上限:10万円/台 利用件数52件 合計2,500千円 ④町内の交通事業者	2,500,000	2,500,000	R4.9	R5.2	町内事業者の貸切バス利用促進のため、利用者に対し補助を行った。合計52件の利用があり、事業者の維持継続を図ることができた。	企画課
22	27	公共交通(バス)応援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動自粛や、原油価格高騰に伴う収益減少のなか、運行を継続している公共交通事業者に対し事業継続のために支援を行う。 ②③支援金100万円 ④町内を運行するバス事業者	1,000,000	1,000,000	R4.9	R5.3	町内を運行する広電バスに運行継続支援金を補助し、運行の継続を行った。新型コロナ感染症の影響による減便はなかった。	企画課
23	28	地域共通電子マネー交付事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の対策として、全住民に7,000円分の地域共通電子マネーをチャージし、地域経済の活性化と生活の支援を行う。 ②③地域通貨カード発行及び事務委託8,900千円 地域通貨交付@7,000円(利用実績38,359,718円) 地域通貨導入に係る環境整備9,260千円 ④全住民	56,519,718	46,528,000	R4.8	R5.3	原油価格・物価高騰の対策として、全住民に対し7,000円分の地域通貨(morica)カードを配布した。 95.95%の利用があり、地域通貨として地域経済の活性化に寄与した。	企画課
24	29	町内体験施設利用支援事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰で地域観光業の体験施設の利用控えにより利用者が減少している町内体験施設事業者を支援するため、体験利用料金の半額を支援することで、入込観光客の増加を促し、事業継続につなげる。 ②町内体験施設の利用料半額を補助 ③各種体験施設(4施設)2,999,500円 ④町内体験施設事業者	2,999,500	2,999,000	R4.11	R5.3	申請のあった4つの体験事業者、6つの体験プログラムに対し、体験利用料金の半額(事業者都合により、一部半額未満の割引になる体験プログラム含む)を補助したことで、1,225人の利用があった。また、4つの事業者者全てにおいて、前年の誘客数を上回った。	産業観光課
25	30	原油価格等高騰影響指定管理者応援補助事業(安芸太田町原油価格等高騰影響観光関連施設指定管理者応援補助金)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響により、観光人口が減少している観光施設の指定管理事業者を支援する ②町内指定管理施設の運営を補助 ③観光関係指定管理施設(7施設)7,704千円 ④町内指定管理施設受託事業者	7,704,000	7,704,000	R4.11	R5.3	コロナ禍における原油価格・物価高騰が中小企業の経営を圧迫する中、町内観光関連指定管理施設の指定管理者の事業継続を支援し、支援対象者(7施設)に指定管理期間内の撤退等は無かった。	産業観光課
26	31	医療・介護・福祉施設等物価高騰影響支援事業	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受ける医療・介護・福祉施設事業者を支援する ②医療・介護・福祉施設の電気料及び燃料費と食材費の一部を補助 ③電気料・燃料高騰分 20,495千円 食材費等高騰分 3,021千円 ④町内医療・介護・福祉施設	23,516,000	23,516,000	R4.11	R5.3	コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受ける医療・介護・福祉施設事業者の事業継続を支援するため、電気料・燃料高騰分(13法人・事業者)及び食材費等高騰分(7法人)の一部を支援した。	健康福祉課
27	32	地域共通電子マネー交付事業(追加整備分)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の対策として、地域通貨の利用促進のため現金チャージ機を設置し、地域経済の活性化と生活の支援を行う。 ②③地域通貨 現金チャージ機導入補助 6,600,000円 地域通貨プレミアム補助 515,220円 ④安芸太田町ハートフル協同組合(地域通貨運用機関)	7,115,220	5,396,000	R4.11	R5.3	地域通貨利用促進のため、現金チャージ機5台導入し、4カ月で約3,400万円のチャージ(入金)があった。地域通貨利用促進と地域経済の活性化を図ることができた。	企画課